

報道資料

令和4年2月21日

令和3年度人事院総裁賞（第34回）受賞者の決定について ～ 個人2名、職域5グループが受賞 ～

人事院は、本年度の人事院総裁賞の受賞者（個人：2名、職域：5グループ）を以下のとおり決定しました。

2月28日（月）11時30分から明治記念館（東京都港区元赤坂）において授与式を行う予定です。

人事院総裁賞とは

人事院総裁賞は、多年にわたる不断の努力や国民生活の向上への顕著な功績等により、公務の信頼を高めることに寄与したと認められる職員（一般職の国家公務員）又は職域を顕彰（年1回）するものです。（昭和63年創設）

受賞者は、人事院総裁の委嘱する各界有識者からなる選考委員会が各府省等から推薦された候補について厳正な審査・選考を行い、その結果に基づいて人事院総裁が決定します。

【個人：2名】

法務省 東日本成人矯正医療センター
センター長

おくむら ゆうすけ
奥村 雄介

採用以降、長年にわたり矯正医療一筋に歩み、矯正施設における常勤医師の減少により、医師一人当たりの負担が増加する中、最前線に立って職責を遂行し、また八王子医療刑務所から東日本成人矯正医療センターへの施設移転で中心的な役割を果たすなど、矯正医療の充実と発展に大きく貢献



海上保安庁 第五管区海上保安本部 総務部
職員相談室長

おおまち ゆうじろう
大待 雄治郎

海上保安業務に従事する中で、自作の紙芝居を作成するなどして、長年にわたり公私問わずライフワークとして多くの児童・生徒等の若年層などに対して、海洋環境保全思想の啓発活動を積極的かつ継続的に行うなどし、海洋環境保全に対する国民の意識の向上に大きく貢献



【職域：5グループ】

法務省

愛光女子学園 教育・支援部門

日本最初の国立女子少年院として設置され、以降70年以上の長きにわたり、女子少年の矯正教育に尽力し、多くの課題を抱える女子少年に対して、職務に対する情熱と使命感を持ち、矯正教育に取り組み続けるなどし、公務の信頼を高めることに貢献



▲施設の様子



▲授業風景



▲少年の居室の様子

厚生労働省

検疫所（成田空港、関西空港、東京、横浜）

新型コロナウイルス感染症が発生して以来、国内への新型コロナウイルスの流入及び国内での感染拡大を防止するため、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」の乗客等への検疫を始めとして、検疫所職員一丸となって水際対策を実施し、国民の健康と安全の確保に大きく貢献



▲航空機からの事前通報審査の様子



▲検体採取の様子



▲病原体検査の様子

農林水産省

大臣官房 新型コロナ現地支援チーム

新型コロナウイルス感染症への対応において、中国からのチャーター機による帰国者やクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」からの下船者の不安や負担を軽減するため、昼夜を問わず食料調達、環境整備、連絡調整等の様々な支援に尽力し、公務の信頼を高めることに貢献



▲業務の様子



▲子どものプレイルームに提供したお菓子

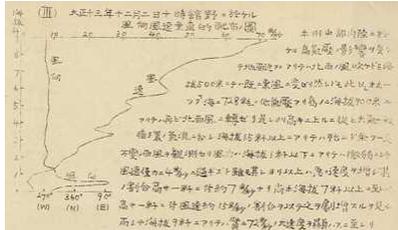


▲栄養バランスに配慮した食事の例

気象庁

高層気象台

100年以上の長きにわたり高精度な高層気象観測を継続し、得られた観測データは、天気予報をはじめ、地球環境・気候変動の研究・監視・評価のための基盤情報として活用され、国民の生命・財産を守る防災気象情報の根幹を支えるなどし、公務の信頼を高めることに貢献



▲大正13年のジェット気流観測報告



▲オゾン／紫外域日射観測の様子



▲ラジオゾンデによる観測の様子

海上保安庁

海上保安学校

70年の長きにわたり海上保安官の育成を担い、令和3年度をもって延べ約2万人の海上保安官を輩出しており、開校から今日まで、国民の安全・安心確保を使命とした海上保安制度の維持に直結する人材の育成に尽力し、公務の信頼を高めることに貢献



▲入学式の様子



▲訓練の様子



▲卒業の様子

令和3年度人事院総裁賞選考委員

(敬称略)

(委員長)

つくだ
佃
あいはら
粟飯原
おおしま
大島
さとう
佐藤
なかえ
中江
はしもと
橋本
みのわ
箕輪

かずお
和夫
りさ
理咲
まり
まり
ゆみこ
友美子
ゆり
有里
ごろう
五郎
ゆきと
幸人

三菱重工業株式会社名誉顧問
アイランド株式会社代表取締役
東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授
追手門学院大学地域創造学部教授
作家・女優
読売新聞特別編集委員
株式会社テレビ新広島代表取締役社長

以上7名

以 上

問	人事院事務総局 総務課長	木村 秀崇
合		総務課長補佐(調整班) 酒井 伸也
せ		電話(03)3581-5311 (内線2105)
先		(03)3581-2772 (直通)